

オーストラリア金融政策（2023年4月）

1年ぶりの政策金利据え置き

2023年4月4日

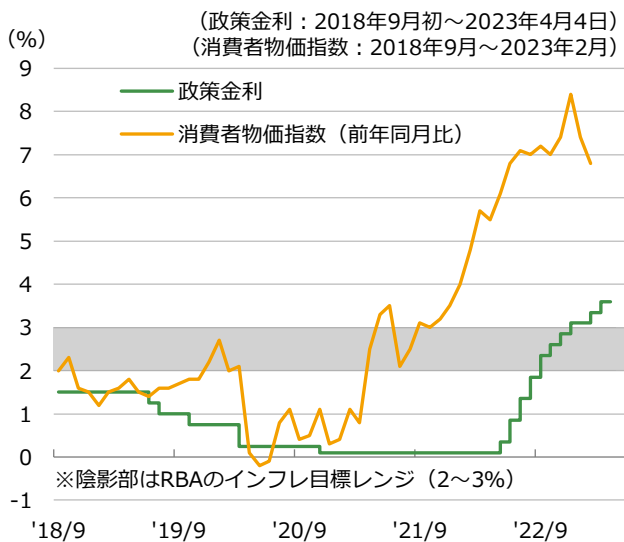
これまでの利上げの効果を検証する時間を確保

RBA（豪州準備銀行）は4月4日（現地）の理事会で、政策金利を3.6%に据え置くことを決定しました。

2月の消費者物価指数は前年同月比+6.8%と、インフレ目標の2~3%にはまだ距離がありますが【左図】、RBAはインフレ率がピークを打ったとの見方に自信を深めた様子です。声明文では、「金融政策が経済に波及するまでにはタイムラグがあり、大幅な利上げの効果がまだ十分に表れていないことを認識している」とした上で、「これまでの利上げの効果と経済見通しを検証する時間を確保するために、今月は政策金利を据え置くことを決定した」と説明しています。例えば、豪州の住宅ローンは変動金利型が主流ですが、コロナ禍でRBAが3年国債利回りを抑制する政策を取ったため、この期間は3年程度の当初期間金利固定型ローンが増えました【右図】。それから3年が経過し、今後は高いローン金利が適用されるため、利上げの効果が強まりそうです。また、3月に欧米で高まった金融不安に関連して、RBAは豪州の銀行システムが健全であることを強調しつつも、「金融環境のひっ迫を通じて世界経済の逆風になるだろう」との見方を示しました。外部環境の不透明感も政策金利を据え置く一因になったと考えられます。

今後の方針は、前回の「更なる金融引き締めが必要になると予想する」から「いくらかの更なる金融引き締めが必要になることも十分にあり得るだろう」へと表現が軟化しました。利上げの必要性を判断するにあたって、RBAは世界経済の動向、個人消費の傾向、物価や労働市場の見通しを注視するとしています。

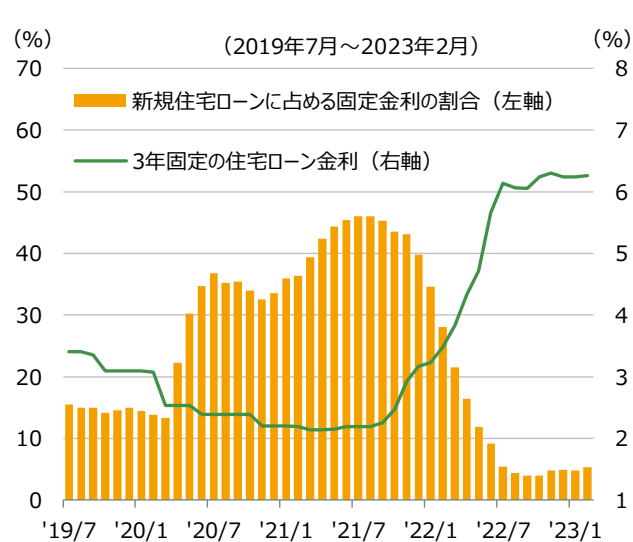
豪州：政策金利と消費者物価指数



※政策金利は決定日ベース

(出所) ブルームバーグ、豪州統計局

豪州：住宅ローンに占める固定金利の割合



(出所) 豪州統計局、RBA

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。